

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	急性 A 型解離における遠位側吻合におけるステントグラフトの意義		
1. 研究の目的と方法	本邦における急性 A 型解離の外科治療におけるオープンステントグラフト（フローゼンエレファントランク）を用いた弓部置換術の妥当性を上行大動脈置換術と対比することにより明らかにする事です。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2013年1月1日から2016年12月31日までに日本心臓血管外科手術データベース（Japan Cardiovascular Surgery Database, JCVSD）に登録された急性 A 型解離に対して上行大動脈置換術あるいは弓部大動脈置換術を受けている20-89歳の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	①基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、術式など ②術中データ：手術時間、人工心肺時間、心筋虚血時間、最低深部温、出血量、輸血量など ③術後データ：生死、脊髄障害を含む主要合併症	
	(4) 情報の取得の方法	データベースから診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座
		氏名	國原 孝
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	日本心臓血管外科手術データベース機構 宮田 裕章 森之宮病院 加藤 雅明		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2024年12月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座 研究責任者：主任教授 國原 孝（くにはら たかし） 窓口担当者：主任教授 國原 孝（くにはら たかし） 電話番号：03-3433-1111（内線：3500） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。